

モンゴルにおける幼稚園児・小学生（障碍児も含む）
教育支援プロジェクトNo. 2

川崎南ロータリークラブ
2017-18年度 国際奉仕委員長
村田真一

モンゴルの幼稚園児、小学生、発達・視力障碍児へ楽器演奏教室・楽器演奏を通じて希望と勇気を与えるプロジェクト。



川崎南ロータリークラブは、昨年度に続き、教育支援プロジェクトとして、モンゴルの幼稚園児と小学生（知的・発達・視力障碍児）を対象に楽器を寄付して、講師による指導を重ね、楽器演奏を通じて彼らに希望と勇気を与えるプロジェクトを行った。モンゴルにおける地区補助金プロジェクトは、今回で2度目となるが、前回と同様に、友好クラブであるナルラグ・ウランバートルロータリークラブとの共同事業である。人口300万人強のモンゴルは、国家財政が、あまり豊かではなく、特に障碍児への文化的な教育に手が回らず取り残されて来た分野である。障碍を持った子供達が楽器を演奏し社会の一員になる事で親御さんに与える影響は非常に大きい。この地域に明るい話題を与えるのもプロジェクトの目的の一つである。楽器の寄付に関しては、川崎市民祭りで、大変有り難い事に、川崎南RCのブースへ沢山の方々から古楽器を寄付して頂いた。ロータリーの奉仕活動を少しでも理解して頂けたのも、イメージ向上に繋がったと思う。プロジェクトの概要は、①障碍を持つ子供たちに楽器演奏を通じて希望と勇気を与えるため障碍児の学校や幼稚園に足りない楽器を寄付して、講師をサポートする。

②活動は、学年度開始の9月にスタートして翌年の5月12日（土）に演奏発表会が開催された。

●プロジェクト期間：2017年9月1日～2018年5月31日

●プロジェクトの総額：596,933円

●実施場所：モンゴル国ウランバートル市



フルートを練習



約150人を前に始めて演奏する子供達



現地宣伝用

プロジェクトチラシのデザイン



日・モ・ロータリンの交流会



テレビ局を呼んで
ロータリー宣伝も出来た。



頑張った子供達へプレゼント渡す